



県生涯学習審議会の審議状況

教育庁生涯学習課長 内田 広之

去る9月に、県生涯学習審議会の委員を改選し、新たに、県内のタレントや地域おこしメンバー、お祭りのリーダー、また、県外のボランティア実践者等、多様な方々を委員として迎えました。

これまで2回ほど、本県の生涯学習施策の在り方をご審議いただきましたが、今回の委員は生涯学習の実践者が多いせいか、具体的でリアルな見解を頂戴しております。

それらの中で特に印象に残っている考え方としては、本県の進むべき道として、自宅に引きこもりがちな人(特に高齢者等)の近くまで行って出前で機会を提供する方法、公民館等を核として、「地域づくり」を中心に据えた学習機会を提供すること、「仲間づくり」を生涯学習の大きな意義と考えてPRしていくこと、といったものです。さらに、このような方針の下で、県下に766人いる「生涯学習奨励員」に施策展開の主力になってもらうのはどうか、という意見も頂いております。

今後さらに、審議を深めつつ、また、視点も広げながら、ご議論を頂戴したいと思っております。

各委員からのご意見については、当課のホームページにも掲載しておりますので、これらのご意見をヒントに、いいアイデアが浮かんできましたら、是非、お知らせ下さい。



生涯学習課の様子・12月

生涯学習最前線!

- 生涯学習センターより -
生涯学習・社会教育関係者
レベルアップ研修報告

11月24日、県・市町村の関係職員や生涯学習奨励員等136名の参加を得て、「レベルアップ研修」を開催しました。

弘前大学助教授の藤田昇治さんが、「地域社会の現状と課題解決」というテーマで講話してくださいました。午後は、「地域社会の活性化に向けての取組上の課題について」をテーマにパネルディスカッションを行いました。会場からは、「事業や活動事例は、あっという間に90分が過ぎ興味深く聞くことができました。」「2007年問題をプラス思考で考えることが、社会教育担当者として大事であり、また地域住民と連携することなどについて大変勉強になりました。」等の声がありました。質疑応答の中では、「現状把握と地域の特色がよく理解できたが、テーマが広すぎ、もう少し具体的な内容も期待する」といった意見もありました。



さて、来年1月26日(金)開催の秋田県生涯学習・社会教育研究大会についてお知らせします。「地域の経済・観光振興、文化振興をめざして～フィルム・コミッション活動をとおした新しい地域おこし」というテーマで、仙北市の観光課長佐藤強さんが講演してくださいます。シンポジウムは「地域おこしから見た生涯学習の推進について」を予定しております。シンポジストとして、青森県と岩手県の方も参加します。皆様の大会への参加をお待ちしております。

トピックス

あきたアドベンチャーキャンプ

今年度、新たに立ち上げた事業です。各少年自然の家を拠点に、秋から冬にかけての子どもたちの多様で豊かな体験活動を推進する2泊3日の内容です。事業の特色は、次の4つ。

- ・参加対象を小学校1年生から中学生まで幅広く設定し、異年齢交流を図る。
- ・全県一区で参加者を募り、他地域の子どもの交流を促進する。移動には少年自然の家や青少年交流センターのバスを活用する。
- ・他の社会教育施設での活動も盛り込み、多様な体験メニューを提供する。
- ・他の教育機関の職員や読み聞かせサポーター、外部講師、更には大学生等のボランティアを活用し、充実した指導態勢をとる。

では、11/3～11/5に2泊3日の日程で行われた大館会場での様子をご紹介します。

申し込み・参加状況

募集開始直後から10日間ほどで、74名の申し込みがありその時点で受付終了。その後も問い合わせ多数。最終的には71名が参加。

- 【岩城会場（1/9～1/11）も既に定員オーバー、保呂羽山会場（2/10～2/12）も定員間近】
- ・約半数が小学校1～3年生の低学年で、その年代の子どもたちの需要が高いことも判明。
- ・中央地区からの子どもの参加が半数近く。

活動の状況

交流ゲーム、天体観望、大湯ストーンサークル館見学&勾玉づくり、きりたんぼづくり、読み聞かせ、ウォークラリーを実施。

好天に恵まれ、参加者はどの活動でも存分に楽しむとともに、活動班や宿泊班のなかまを中心に、異なる学校の異なる学年の子どもたちと交流を深める様子が！別れ際にも、「大変楽しかった」「多くの友達ができた」の声・声・声！

各活動の講師、そして主管した大館少年自然の家スタッフの温かい4Sの指導のたまもの！

施設間連携とスタッフの状況

岩城&保呂羽山のスタッフや「海の達人」養成講座修了生等の体験活動ボランティアが、各班のグループリーダーとなり、懸念されていた低学年の子どもたちへも手厚い支援が可能に！

途中、ホームシックになりかけた子どもに対しても、アミーゴが見事にフォロー！

★ SPOTLIGHT

第4号のSPOT LIGHTは、県立子ども博物館の鈴木保さんです。

<プロフィール>

鈴木 保(すずき たもつ)

秋田市在住。子ども博物館勤務3年目。担当はワークショップやセカンドスクール対応など。

<ご本人からひとこと>

『秋田県児童会館と県立子ども博物館が併設になっている職場です。申し込み制の講座や自由参加のワークショップを楽しめますし、児童会館の遊具スペースでも自由に遊べるので、どうぞお気軽に来館してください』



(ミニ特集) 県内市町村 地域子ども教室 紹介ポスター

「子どもの居場所づくり研修会」におけるポスターセッションのため、市町村で作成したポスターです。今号から3回に分けてご紹介します。



大館市



北秋田市



八峰町

生涯学習課からのお知らせ

- 12/9 「佐々木宗一郎展」(～2/4 近代美術館)
- 1/19 フレッシュあきたゼミ・セラピー・環境ゼミ
(県生涯学習センター)
- 1/20 マナビィ・フェア
(～1/28 県生涯学習センター)
- 1/24 なまはげキャンプ
(～1/30 北秋田市・男鹿市・大湯村)
- 開催中 IT講習(～3月 県生涯学習センター)

(編集・発行)

秋田県教育庁生涯学習課 TEL018-860-5181

URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>